

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（平成 24 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町 6 番

2 設立年月日

平成元年 5 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 志賀 幸弘

4 資本金

3,524,000 千円

5 北九州市の出資金

1,000,000 千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

- ・役員数 13 人
 - うち常勤 3 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）
 - うち非常勤 10 人
- ・職員数 15 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）

II 平成 23 年度事業実績

1 航空旅客

今期の日本経済は、東日本大震災の影響等による厳しい状況のなか、緩やかな景気の回復がみられた一方で、原油価格の上昇、海外経済の減速、円高等により景気の先行きに不透明感がみられた。

航空業界においては、年度当初は東日本大震災の影響等により大幅に利用者が減少したが、その後、徐々に回復傾向となった。

この間、国内線については、行政や関係団体等と緊密な連携のもと、既存路線のPR活動等による旅客増に努めるとともに、航空会社に対しては路線の新設等の働きかけを行った。

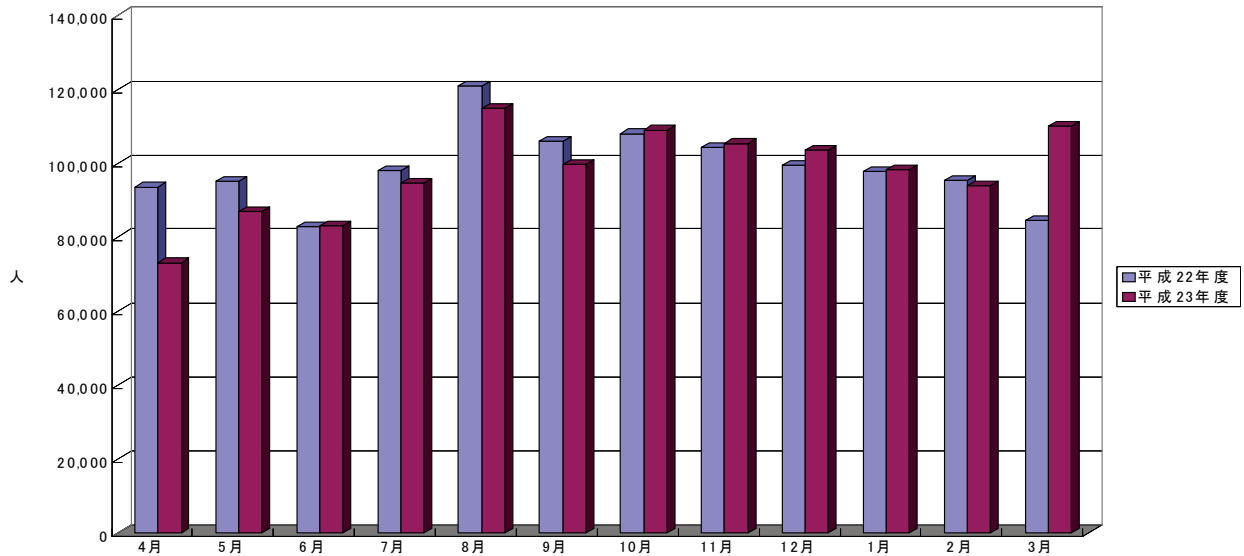
また、国際線についても、行政や関係団体等と緊密な連携のもと、海外の航空会社に対して新規航空路線の誘致活動に取り組むとともに、韓国（仁川）路線のPRや集客活動を行った。

このような状況のもと、当北九州空港においては、東京（羽田）路線は、年間約 1,130 千人（前期比 101.6%）で 18 千人の増となった。また、韓国（仁川）路線は 5 月 20 日から 7 月 20 日までの運休が影響し、年間旅客数は約 33 千人（前期比 75.8%）で約 11 千人の減となった。

チャーター便は、ソウル、香港、台北、ホノルル等に運航し、約 8 千人（前期比 50.4%）の利用があった。

この結果、年間乗降客数は約 1,172 千人（前期比 98.9%）となった。

【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



2 航空貨物

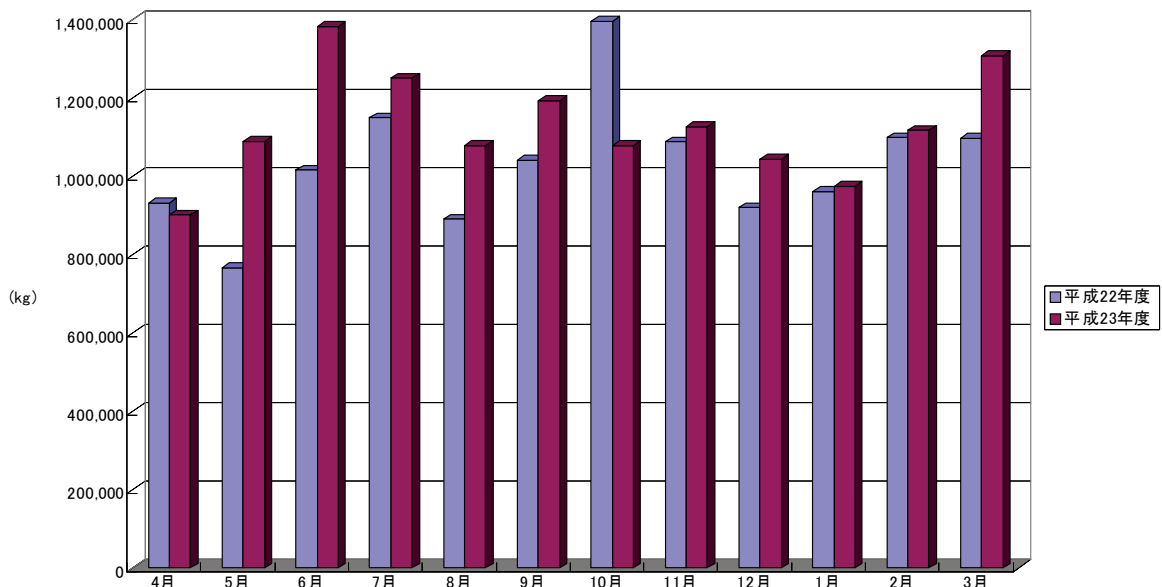
北九州空港を 24 時間運用の貨物拠点空港に向けて、行政による航空貨物重量助成制度の支援等により、九州で唯一の国際航空貨物定期便（北九州－上海路線）である揚子江快運航空の輸出入貨物量の安定化に取り組むとともに、新規航空会社の誘致や国際貨物チャーター便の誘致活動を行った。

国内航空貨物は、東日本大震災の影響や世界的な不況により、全国的に取扱量が減少している中、年間搭載重量が約 11 千トン（前期比 102.2%）となった。

また、国際航空貨物についても、カナダやオーストラリアからの大型貨物専用機が 12 便乗り入れたことに加え、新たに、日本貨物航空の仁川－成田間の定期便が北九州空港に初めて臨時寄港したことから、約 2 千トン（前期比 172.6%）で約 950 トン増加した。

これらのことにより、航空貨物取扱量は国内・国際ともに開港以来最大となった。

【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

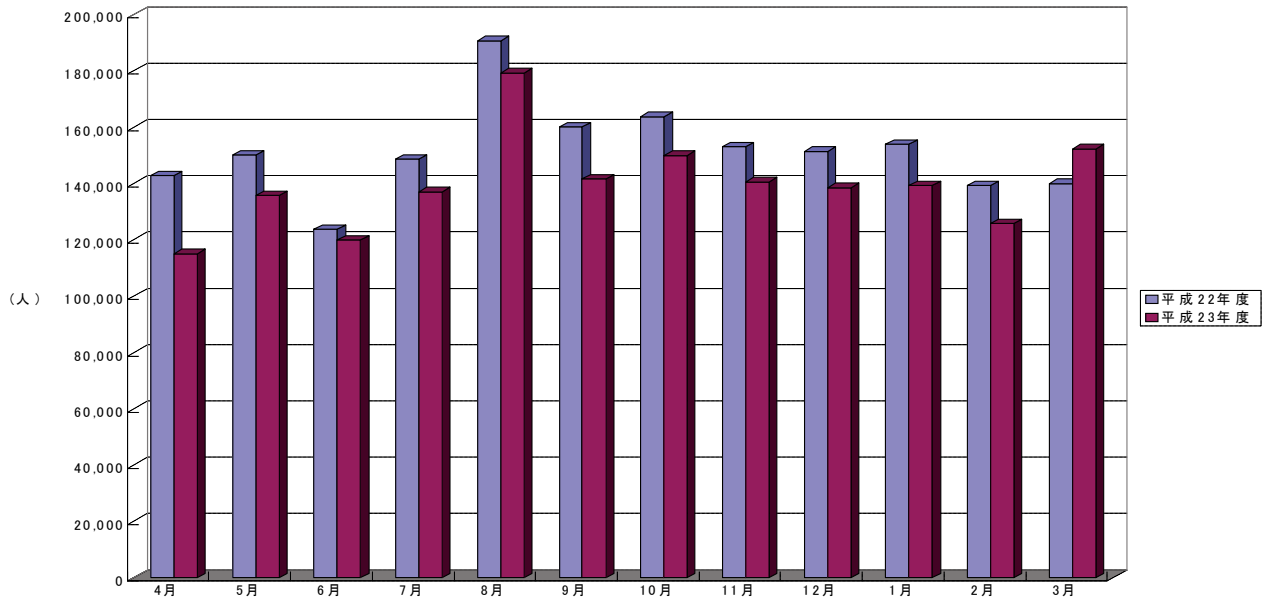


3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

この結果、年間の旅客ターミナルビル来館者は、約1,676千人（前期比92.2%）となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主なイベント名
4月	北九州空港開港5周年記念「写真コンテスト」入賞作品展示
4月～5月	しものせき海峡まつりパネル展
5月	ポニー乗馬・ふれあい動物園 ピエロのみいちゃんパフォーマンス、エイサー演舞 新茶と九州味紀行
6月～7月	幼稚園児による七夕飾り
7月	京築フォトコンテスト作品展 京築神楽公演 小倉祇園まつりパネル展 戸畑祇園大山笠PR展示
7月～8月	ナイトトリップ in 北九州空港

8月	国際車椅子バスケットボール大会感動の写真展 北九州空港陶器市 夏休み工作教室、夏休みカブト虫ランド 東田フォトコンテスト 2011 作品展
9月	「北九州空港でJALの飛行機の絵を書こう」作品展示 名月と軽音楽の夕べ
9月～10月	空港開港までの道のり 空港海域に住む海洋生物パネル展
10月	北九州空港まつり 山口国体開催記念フェア ゆくはしの遺産絵画展 癒しのエアポートライブ 沼楽・春秋太鼓奉納
11月	北九州空港菊花展
12月	幼稚園児によるクリスマス点灯式・装飾 クリスマスコンサート
1月	東日本大震災災害派遣状況パネル展
1月～2月	バレンタインデーイベント 京築フォトコンテスト作品展
2月	京築神楽公演
2月～3月	平尾台野の花会作品展
3月	開港6周年記念イベント
通年	新池坊いけばな展示

4 テナント売上増に向けた取り組み

北九州空港だけの上質のおもてなしと接客サービス向上のため、毎月、テナント勤務職員に対して入店者研修を実施するとともに、テナント会店長会議を開催し、オリジナル商品や売れ筋商品の販売検討や航空会社の利用状況、チャーター便の就航情報等を共有する等、テナントの売上増に向けた取り組みを行った。

また、入店者研修受講者を対象に、外部講師を招いてフォロー研修も実施した。

さらに、テナント会と共同で、「北九州空港朝市」や「豊前街道新鮮市」、「北九州空港のうまいもの市」等を開催するとともに、「北九州空港開港5周年記念プレゼントキャンペーン」等を実施した。

【飲食・物販イベント実施状況】

開催時期	イベント名
毎月 第4日曜日	北九州空港朝市
毎月 土日祝日	豊前街道新鮮市
5 月	北九州空港のうまいもの市
9 月	北九州空港開港5周年記念プレゼントキャンペーン

5 施設整備等

24時間運用の海上空港としての特色を活かすとともに、空港周辺の産業界の航空貨物需要に対応するため、国際航空貨物上屋の建設や貨物取扱機材の整備を行うとともに、航空旅客の需要増や新規路線、新規航空会社の就航等に的確に対応していくため、旅客ターミナルビル固定橋等増築工事を行った。

また、整備計画に基づいて、各種補修工事を実施した。

6 経営状況

当社の経営状況については、当期売上高は、震災等の影響による国際チャーター便の減少により設備使用料等の収入が減少したため、約748百万円で、前期と比較し、約7百万円減少した。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、管理経費の削減や節電対策などに取り組んだが、スターフライヤー事務所狭隘化に伴う増築のため、現プレハブ倉庫撤去の特別償却に伴う減価償却費等が増加したため、約685百万円で、前期と比較し約15百万円の増加となった。

また営業外収益は約50百万円、営業外費用は約17百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約99百万円で、当期純利益は約35百万円となった。

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	643,878,410	【流動負債】	328,668,609
現金・預金	540,367,487	買掛金	182,440
商品	452,635	未払金	39,038,335
貯蔵品	517,841	一年以内返済長期借入金	216,562,000
前払費用	3,323,929	リース債務	1,856,232
未収入金	85,449,860	未払費用	1,858,800
繰延税金資産	13,766,658	未払法人税等	36,718,900
		未払消費税等	6,261,700
		前受金	22,693,260
		預り金	688,942
		仮受金	16,000
【固定資産】	4,423,523,985	賞与引当金	2,792,000
(有形固定資産)	4,106,053,197	【固定負債】	845,761,080
建物	3,940,845,077	長期借入金	649,628,000
構築物	78,272,437	退職給与引当金	3,950,916
工具器具備品	9,995,504	預り敷金	29,177,400
機械装置	1,053,495	預り保証金	59,089,800
車両運搬具	2,246,844	長期リース債務	5,260,080
リース資産	6,646,840	資産除去債務	79,612,921
建設仮勘定	66,993,000	繰延税金負債	19,041,963
(無形固定資産)	16,655,088	負債合計	1,174,429,689
電話加入権	124,984	純 資 産 の 部	
水道施設利用権	2,244,375	【株主資本】	3,892,972,706
供給施設利用権	14,285,729	資本金	3,524,000,000
(投資その他の資産)	300,815,700	利益剰余金	368,972,706
投資有価証券	300,515,700	その他利益剰余金	368,972,706
出資金	300,000	繰越利益剰余金	368,972,706
		純資産合計	3,892,972,706
資産合計	5,067,402,395	負債・純資産合計	5,067,402,395

2 損益計算書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日 (単位 : 円)

科 目	金 額	
I 売上高		748,147,304
売上高	13,532,160	
家賃収入	288,211,076	
管理費収入	182,486,511	
設備使用料収入	239,690,500	
広告料収入	24,227,057	
II 売上原価		2,377,797
売上総利益		745,769,507
III 販売費及び一般管理費		682,302,340
営業利益		63,467,167
IV 営業外収益		49,679,316
受取利息	277,729	
受取配当金	12,000	
損害保険手数料収入	47,605	
雑収入	49,341,982	
V 営業外費用		17,170,708
支払利息	17,121,723	
雑損失	48,985	
経常利益		95,975,775
VI 特別利益		70,019,444
補助金	70,019,444	
VII 特別損失		66,671,293
機械装置圧縮損	32,699,999	
車両運搬具圧縮損	26,185,997	
器具備品圧縮損	5,300,997	
投資有価証券評価損	2,484,300	
税引前当期純利益		99,323,926
法人税、住民税及び事業税		53,699,723
法人税等調整額		10,494,711
当期純利益		35,129,492

IV 平成24年度事業計画

北九州空港が 24 時間運用の海上空港の特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するように取り組んでいく。

1 航空旅客

国内線については、行政や関係団体等と緊密な連携のもと、既存路線のPR等による旅客増に努めるとともに、航空会社に新規路線の新設を働きかけていく。

国際線については、行政や団体と連携し、7月12日から運航が始まるスターフライヤー韓国(釜山)線のPR等を行い旅客数増に努めるとともに、新規航空会社の誘致活動を行う。

2 航空貨物

航空貨物についても、行政や関係団体等と緊密な連携のもと、輸出入貨物量安定化のため、国際航空貨物定期便や国際チャーター便の誘致を行う。

併せて、滑走路3,000mへの延伸実現に向け国への要望活動等を行っていく。

3 ターミナルビル来館者

四季折々を感じる多彩なイベントや展示会等を実施し、航空旅客以外の集客を図る。

4 テナント売上増に向けた取り組み

テナントに対し、魅力ある商品の開発や、オリジナル商品の販売、売れ筋商品の入荷・販売等、売上向上に向けた指導を行う。またテナント会と連携しイベント等を開催し、航空旅客以外の集客を図る。

5 整備計画

スターフライヤー事務所狭隘化に伴う増築について検討を行う。

また、釜山線就航に向けて、館内のサインや飲食店のメニュー等、外国語表記を再度見直し、整備を行う。

V 平成 24 年度予算

1 収支予算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	13,000
		家賃収入	290,000
		管理費収入	183,000
		設備使用料収入	240,000
		広告料収入	24,000
	小 計	750,000	
	営業外収入	雑収入等	50,000
		小 計	50,000
	合 計		800,000
	支 出	営業費用	売上原価
人件費			96,000
一般管理費			45,000
減価償却費			227,000
水道光熱費			79,000
租税公課			48,000
地代			30,000
管理委託費			158,000
小 計		685,000	
営業外費用		支払利息等	15,000
小 計	15,000		
合 計		700,000	
収 入 - 支 出		100,000	

VI 役員名簿

平成24年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	志賀幸弘	
代表取締役専務	奥久志	
常務取締役	今村裕明	
取締役	斉藤淳	日産自動車九州株式会社 取締役執行役員
〃	広瀬隆明	新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所 総務部長
〃	石丸靖彦	TOTO株式会社 総務部長
〃	大群拓也	苅田町 副町長
〃	戸上勝喜	九州電力株式会社 執行役員 北九州支社長
〃	松岡樹	全日本空輸株式会社 企画室グループ事業推進部 担当部長
〃	前川義広	西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
常勤監査役	浦野繁樹	
監査役	川本惣一	株式会社西日本シティ銀行 取締役専務執行役員 北九州総本部長
〃	松本英樹	行橋市 総務部長